



アサガオはどうして本葉とふた葉の形がちがうの

ふた葉は栄養をたくわえるという役目があり、本葉とは形がちがう

アサガオのふた葉は、根や本葉がのびるための栄養をたくわえています。本葉が出て、ふた葉に代わって栄養を自分で作れるようになるころ、ふた葉は栄養をすっかり使い果たし、ぶよぶよになって落ちてしまいます。本葉とふた葉は役目がちがい、その形もちがいます。このことはアサガオにかぎらず、すべての植物でも同じです。

双子葉植物と単子葉植物

アサガオのように、発芽のときふた葉を出す植物を双子葉植物、イネのように芽生えのときに、1枚の葉しか出さない植物を単子葉植物といいます。花をつける植物は、この2つに大きく分けられています。種の中に、すでに用意されている葉のことを子葉といいます。芽生えのときには栄養がいります。アサガオでは、この栄養を子葉の中にたくわえています。イネでは、胚乳というものにたくわえています。（監修・中山 周平）

